



発行日 平成23年12月13日  
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会  
神戸市中央区神若通5丁目3番26号  
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

## 第25回 朗V連交流会盛況のうちに終わる



飯原道代さん

今にも降り出しそうな空模様のなか、参加者の熱気に包まれて第25回朗読ボランティア連絡会交流会が11月10日(木)午後1時から兵庫県民会館「けんみんホール」にて開催されました。

朗V連の29グループと一般参加の方も含め188名の方々にご来場いただき無事終わることが出来ました。本当にありがとうございました。

第1部では、むれの会(三木市)と、せせらぎ(たつの市)の2グループによる朗読発表、ご苦労様でした。研鑽のあとがかわれる朗読に聞き入っていました。また、どちらの作品にもそれぞれの思いやりを持ってまっすぐ生き抜く人生に考えさせられました。



約束(むれの会)

第2部では、『ナラティブシアター 土の子』の飯原道代さんによる講演がありました。

第I部の「声とことばの表現あそび・50音をたしかめる」では、声を出すには身体を安心させ、そして体温を上げることが大切であり、また、喉を痛めず楽に声を出すあてどころを勉強し、「あ・い・う・え・お」で思いっきり楽しく声を出し盛り上がりました。

第II部では中田良さんのピアノも加わり、「詩とうたと音楽のステージ・ことばうた」を聞かせていただきました。

飯原さんのマイクなしで会場いっぱいに響き渡る声に魅了されました。駄洒落いっぱいの笑いを誘う楽しい詩の表現、日本語の広がりを楽しみ感じられることばの表現あそび、可愛い動物の出る楽しい朗読など、時間が経つのを忘れて聞き入りました。

交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。

貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動につなげていきたいと思っております。





## 第1部で発表して下さった方々の声

むれの会（三木市） 中根 弘子さん

7月に出演が決まり、8月にやっと作品を選んでから3ヶ月余り、気の重い毎日が続きました。一つの作品をこんなに長時間練習し続けたのは初めての経験、読めば読むほど違いが生じ落ち込むことも度々でした。先輩たちの助言に励まされて、悪戦苦闘の末に当日を迎えました。

本番では仲間の力強い応援に支えられ、なんとか大役を果たすことが出来ました。いい機会を与えられて、今は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



せせらぎ（たつの市） 進藤 洋子さん

最近では近隣への出前朗読（小学校や各集会等へ出かけての朗読）の機会も増え、喜んでいただいておりますが、今回のように、朗読に日々研鑽されている方々の前で発表することには随分ためらいがありました。でも「せせらぎ20周年の良い記念になるのでは？」との声で「じゃあ、みんなで頑張ってみよう」ということになりました。

朗読にあたって、時代物の雰囲気は出ているか、それぞれの役の特徴は出ているか、間の取り方は？ 効果音は？ 等々、互いに意見を出し合いながら練習に励んでいくうちに、日頃の和気あいあいとした中にも真剣さが増し、一步前進できたのではないかと思います。そして、グループの絆も一層強くなりました。今回の経験がこれからの活動に生かされていくことと思います。

私たちのつたない発表を最後までご清聴くださり感謝いたします。

### 交流会アンケートより

- ・「むれの会」「せせらぎ」さん双方とも気持ちよく朗読を聞かせて頂きました。皆さん上手で、私も努力せねばと奮起しました
- ・話の筋をしっかりと理解されての朗読は立派です。
- ・“体をリラックスさせるといい声が出る”というのがよくわかりました。とても楽しくていつまでも観ていたかったです。日本語って素敵だと思ったし、表情豊かで表現豊かな方って魅力的だと思いました。
- ・2つのグループ共、楽しく聞かせて頂きました。練習をよくされたと思います。私も頑張ります。

一般の参加者からも一言いただきました

### 朗V連交流会に参加して

生嶋 庸子

以前から朗読に興味があり、{音訳ボランティア}の講座を受講していましたが、目の病気になり、文字が読みにくくなってしまい、諦めてしまいました。今回第25回朗V連交流会に出席して、たくさんのボランティアグループが活動されているのに驚きました。

第1部の朗読発表では2編とも、情感込めて朗読されていたので、自分なりの想像力で、場面をイメージすることができました。言葉に情感をこめて朗読することは難しいと思います。音訳との一番大きな違いだと{音訳}を習った時に教わりました。

飯原さんの「50音使った歌遊び」もユーモラスな指導で、とても楽しく、自然に笑顔になっていました。また、機会がありましたら、出席したいと思っています。ありがとうございました。

# NHK巡回朗読セミナー

10月13日(木)神戸会場19名、10月14日(金)姫路会場26名の方がNHK巡回セミナーを受講されました。長時間にわたってのセミナーでしたが、皆様熱心に取り組まれ、実り多き一日だったようです。講師の先生および受講者の皆様からの声を紹介します。

## 神戸会場Bコース

藤原 尚武 先生 からのメッセージ

朗読は内容を人に伝えること（コミュニケーション）を中心に話しましたが、皆さんが「話の中心」は何処なのかを捉えて読んだ時、朗読が一日で素晴らしく変化することに感動しました。是非発表する機会を増やして下さい。

受講生 アンケートから抜粋

- ・内容は“組み立てる”という今まであまり考えなかったことだがむつかしい作業だ。でも、それができると文章がとても生きてくるのがわかりました。むつかしい内容を楽しく教えていただいてこの講座が次回も楽しみになりました。
- ・初めての参加でとても勉強になりました。組み立て方のおもしろさが少しずつわかってきた様に思います。字だけを追って読んでいるのでは相手に伝わらないということ、よくわかりました。

## 神戸会場Cコース

岩井 正 先生 からのメッセージ

気持ちの良いセミナーでした。皆さんの前向きな姿勢がビンビンと伝わってくる。向上心と言うか、探求心と言うか。熱意が講師を燃えさせます。今回は「拍」（はく）の概念を積極的に取り入れて読んでみよう（イヤ、話してみよう！）と勧めました。力を入れずに語頭をはっきり音にする。しかも語尾が伸びない万能のテクニックです。「拍」読みに「拍手」！

受講生 アンケートから抜粋

- ・毎年1回のNHKのこの講座を楽しみにしています。毎回、目からウロコのことがあり、必ず新しい発見があって本当に勉強になります。自分の気づかなかった欠点やよみぐせを指摘して頂き緊張しながらも充実した時間をすごさせて頂いています。また、お昼休み（食事）の時間に他のグループの方たちとの交流も楽しみの一つで経験豊かな方たちからいろいろと教えて頂き、ためになっています。
- ・聴いていただく方にわかる（届く）朗読には今日のポイントとして①拍、②息、③間をご指導いただいた。とてもわかりやすい説明をしていただき、「なるほど」と納得。これからの朗読にこれを生かしていきたいと思います。

## 姫路会場Aコース

藤原 尚武 先生 からのメッセージ

文字で書かれた場面を目の前で文字を見ていない人に伝えること、大変難しいことですが、参加された方々が短い時間で理解出来たかどうか不安ですが、午後の



「小僧の神様」では皆さんが、小僧がすしを食べられず店を出た様子が実に見事に語られたと思います。是非続きに挑戦していただきたいと思います。

#### 受講生 アンケートから抜粋

- ・ていねいに行間にある意味を思いめぐらせて、しかし淡々と読むということを強く教わりました。今日のような読み方をすると一冊の本がどんなにふくらみ面白く読み手に伝わるのか…今後の朗読の姿勢とします。
- ・自分の間を考えながら読むとか、前の人に語るように読む、場面を浮かべながら淡々と読む等今までと違った切り口で教えていただき嬉しかったです。ともすれば発声やアクセントにこだわるあまり、朗読の本質を忘れていたように思います。伝わらないと意味がない、自己満足に終わらないようこれからも研鑽していきたいと思います。

#### 姫路会場 C コース

##### 岩井 正 先生 からのメッセージ

この C クラスも熱心でした。関西のアクセントやイントネーションは花盛り、てんこ盛りでしたが、内容（なにか）を伝えようという気持ちにあふれ、一言アドバイスすると一瞬にして別人のような声になるのが、担当していて楽しかったです。がんばって下さいね。



#### 受講生 アンケートから抜粋

- ・理論づけて指導して下さい、自分の読みの悪いところがよくわかりました。先生がユーモアをまじえて指導して下さいるので緊張がほぐれて先生のおっしゃることがよくわかりました。
- ・きょうのポイント①拍 ②息 ③間、これについて教えていただきましたが難しくなかなかできませんでした。力を入れずにと言われても自然に入り、間も自分で長いと思ってもなかなかとれませんでした。少しずつでもできるように勉強していきたいと思います。
- ・今日は「拍」について学ばせて頂き、何か一つお腹に落ちた様な気がし、しっかりと身につけたいと思いました。やっぱり朗読は楽しいと思わせて頂きました。

#### 受講者の声

朗読ボランティア のぎく 八尾 美奈子

教え上手・ほめ上手の先生のおかげで、良い雰囲気の中、勉強できました。「文を組み立てて読む」は先生のご指摘があるとなるほど！と思うのですが、これを自分ひとりでするとなると…難しいです。午後は午前と比べてどの方も数段上手く読まれていて良い刺激を受けました。学んだことを皆さんがどんどん吸収されているのを見て、私も頑張らねばと思いました。少人数であったこともあり、充実した指導を受けることができました。有意義な一日をありがとうございました。

#### ポシエットがインターネットで見られます！

ポシエットは 103 号から、神戸ライトセンターのホームページに掲載されるようになりました。神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jpn.org>) を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。



## 第14回中山ワンダフルフェスタを終えて (財津和夫コンサート)

10月7日(金)午後3時から神戸文化ホールにて「財津和夫コンサート」が開催されました。今年も中山視覚障害者福祉財団様のご好意により多くの朗V連メンバーが楽しいひと時を持つことが出来ました。私たちの活動にご支援とご理解を頂きありがとうございます。



### 中山ワンダフルフェスタに参加して

「虹」 加藤 千恵子

この音楽公演は今年で14回目。中山障害者福祉財団はこのイベントを通じ毎年視覚障害の方に盲導犬を送り続けておられる。

理事長ご自身も生まれながら目の障害をお持ちだとか。でも、だからって同じ境遇の方の力に盲導犬を差し上げたい、とは普通ならない。私たちも自分のできることは何か、考えていきたい。

歌好きの友人のお供?で、初めて生で聞けたのは望外の幸せだった。おしゃべりは苦手と言われたが、ソフトで静かな語り口、少年の感傷も中高年の哀歎も、たまにユーモアを交えつつ語られ楽しかった。

歌はさすが絶唱。のびやかで温かみのある澄んだ声。今もボーイズ・ボイス、ボーイズ・ハートを持ち、心がおじさんと少年を行き来している財津さん。その歌詞の語りかけについて聞き入った2時間だった。



## グループ紹介 数珠繋ぎ



グループ紹介数珠繋ぎは12回目を迎えます。今回はC-3 淡路市「グループちひろ」を紹介します。

### 淡路市 グループちひろ

淡路島の北の端っこ。明石海峡大橋の架かる街、淡路市岩屋にある朗読ボランティアグループです。

活動は20年あまり前からですが、地域の急激な過疎化・町村合併での広報紙の一本化等、リスナー・メンバー共に減少の一途です。でも、残った精鋭4名は、全員個性豊かで、明るく元気!

地域のボランティアイベントでもそれぞれの持ち場で、子供たちや老人会の皆さんと交流したりしています。また、普段はリスナーの方からのちょっとした依頼にいつでも対応出来る様、常にアンテナを立て、小さな事からコツコツと、ボランティアの灯を消さない様これからも頑張っていきます。

東根 孝子



